

平成27年度第1回史跡井野長割遺跡整備検討委員会議事録

○日時 平成27年8月3日(月)

14時00分～16時45分

○会場 社会福祉センター地下会議室

1. 文化課長挨拶

2. 委員・職員紹介

3. 報告事項(事務局より)

(1) 普及事業(国史跡指定10周年記念事業)

平成26年8月3日に遺跡見学会と伐採体験を行った。平成27年2月7日にシンポジウムを行った。

(2) 第19次調査の概要(パソコン上映・遺物展示)

平成27年6月3日～17日に発掘調査を行った。住居跡1軒、土坑7基を検出した。井野小の工事に関わる発掘は完結した。整理作業は来年度、印旛郡市文化財センターに委託する。第11次、第18次、第19次の3回分の調査について整理、報告書刊行をする予定。

(3) ボランティア活動

5月20日(水)、6月29日(月)に実施した。市民カレッジのまちづくり活動の環境維持活動で、草刈等を行っていただいた。次回は8月に実施を予定している。

4. 検討事項

事務局より(1)～(4)について報告

(1) 防犯対策について

①市で実施している青色防犯パトロール(青パト)のコースに入れる。

②山万グループ「ワイエム総合サービス」(ユーカーが丘営業所)に巡回を委託する。

③警察官やNPO法人「クライネスサービス」に巡回・協力を依頼する。

④学校裏口(史跡範囲外)にポールチェーンを設置して学校敷地を明示する(今年度中に実施予定)。

⑤死角を軽減するため、学校裏口の器材の整理、物置等の移設を行う。ただし、物置の移設については現在適当な移設場所がないことと移設費用がかかるので、すぐにはできない状況だ。また、学校フェンス沿いの樹木(桜)や史跡内の谷底・斜面部の樹木について、適切な伐採・剪定を行う。

(2) 安全対策について

・北側(住宅地)との間に10m程度のバッファゾーンを設ける。

(3) 史跡の部分公開について

・部分公開の暫定措置として、見学ルートを設定する。出入口は南側歩道（国道 296 号）からとする。

(4) 史跡の活用方法について

・市内小中学校に学習の場として活用していただけるよう打診する。

<検討>

A委員

近隣住民が危惧している防犯上の問題をもう一度整理していただきたい。

事務局

隣接住民は、不特定多数の見学者が史跡に入り込んでくることが、夜間の犯罪を危惧していると思われる。

A委員

公開しなくても現況においても心配されること。史跡内を公開していなくても同じような問題はあのではないか。公開の仕方とも関係があると考えられるが、意見はあるか。

E委員

ユウカリが丘地区は防犯に力を入れている。遺跡を公園化したとしても、防犯面の危険度は今と変わらないのではないか。防犯カメラを設置できればより防犯を強化できる。また、樹木伐採を進めて見通しをよくするべきである。

事務局

現在は史跡内に人が入れないので問題ないが、公開すれば史跡内にまで第三者が入ることになりリスクは高まると考えられる。近隣住民からは、「防犯カメラを設置しても犯罪があったときに即時に対応できないのではないか。ハード面の整備には限界があるので、近隣住民の目を充実させたほうがより実態に即しているのではないか、との意見をいただいている。

E委員

防犯カメラがあるということを明示しておけば、犯罪抑止力になるのではないか。

A委員

通常は自分の土地に国史跡があるということは住民にとって喜ばしいことで、住民が遺跡を支えていくのが通常のケース。井野長割遺跡は特殊なケースであり、草刈りなどのボランティア的な動

きがあまり見えず、公開の合意も得にくい。パトロール等の警備を強化していくしかない。

F委員

北側は行き止まり表示があれば人は入らない。国道 296 の新しい道路を車で通る住民には、森が史跡であるとの認識があまりない。「国史跡 井野長割遺跡」と1文字ずつA4用紙に印刷・ラミネート加工して柵に取付け、表示するのはどうか。それが、近隣住民からは目立つのが嫌だという意見が上がるかもしれないが、車で通る住民にはわかりやすくなり、史跡としての認知度が高まるのではないか。

A委員

現在、道路側に標示はないのか。

事務局

ない。

(296側の写真をプロジェクターで表示)

前回の委員会ではフェンスに「いのながわりいせき」と平仮名でペイントするという案を出したが、予算化できず今年度は見送った。現在は、所管の印旛土木事務所に許可をいただいて、「この森は国史跡井野長割遺跡です。ゴミを捨てないように」という表示をA3サイズでラミネートしてフェンスに貼ってある。F委員の意見のとおり、車でも見える標示を暫定的に設置すればさらにわかりやすくなる。

防犯上道路から史跡の中が見えないというのも良くないので、頻繁に法面の維持管理をしたいと思っている。歩道からの見通しが利くことも犯罪抑止力につながると思う。経常的なきれいな景観を維持していく必要がある。

C委員

公園化したときの出入口は(296側の)トラロープが設置してあるあたりになるのか。

事務局

こちら側(フェンス脇)が史跡と歩道との間にほとんど高低差がないので、支障なく出入りができる。あくまで暫定的な措置であり、ずっとそれでいくというわけではない。当面はトラロープを外して入口にすることを考えている。

法面は印旛土木事務所の管轄だが、通行する分には道路法上の申請は必要ないことを確認している。手すりや通路に関する工事をするとすると手続きが必要となる。

C委員

入口の左側に出入口標示をする予定はあるか。

事務局

するとしたら、佐倉市所有地のところに何か標示をする。手すりも階段もつけずに入れる状況だ。

B委員

史跡公園をどう管理していくかという問題になってくる。公有地なので、責任問題になる。どういう導線で見学者を動かすかということで、全体の空間における人の出入りをどう制御できるか。どこに車を止めてどこから入るのか、ということを明記する。どういうふうな空間デザインを、ということを市としてしっかり作るべきだ。侵入を制御するということと自由に使うということとは矛盾することであるので、どこで折り合いをつけるかを議論しないと解決しない。自由に入れることを犠牲にするのかどうかということも住民と相談する必要がある。自由に入れるようにするには、条件設定が必要だと思う。たとえば、何時から何時までという仕組みが必要かもしれない。今は車を止める場所がないので、駐車場を整備し、住宅側から出入りしないなど、ルールを作ることが大事だ。何かあった時に市が対処しなかったということになる。

D委員

どういう施設をつくるかということと抱き合わせで考えて欲しい。

A委員

市の考えを説明してください。

事務局

(活用方法について資料をもとにコース案について説明)

一度にすべてをとというふうにはいかない状況なので、様子を見ながら段階的・部分的に公開していきたい。事務局としては中央広場まで見て戻ってくるのが望ましいが、北側住民に迷惑がかけられない範囲で考えている。

また、史跡の西隣に建物が建つようなので、そこにも配慮していきたい。いずれにしても、縄文の道をルートに活かして段階的なコースを示した。歩く部分は下草刈りをして、入ってはいけないところはいずれかの形で明示する。

A委員

北側は閉鎖するのか。

事務局

それはない。完全に閉鎖すると景観を損ねてしまう、という住民の意見がある。当面は現状のままと考えている。実際通って使っている方もいる。

C委員

整備されたあと、何かあった時にすぐ市の責任が問われる。対策はできる限り尽くすべきでは。開放しておくのはいかがなものか。住民が「囲うな」と「防犯はしっかりやれ」というのは矛盾している。一部の住民が言っているが、中には「ほらみろ、フェンスがないからじゃないか」ということにもなる。出入の時間を決める措置も必要になる。

A委員

史跡見学に来る人は歩き回りたいはずだ。北側はある程度封鎖すべきだ。

事務局

厳しい意見をおっしゃっている人は北側の最近入ってきた人たちだが、今まで散歩道として通り抜けている人たちもいる。封鎖するとそういう人たちから意見が出ることになる。

A委員

柵がないと防犯が、という矛盾が生じる。

事務局

南側には柵を作ろうと思う。

A委員

柵は検討していく必要がある。

C委員

柵は管理していく上では必要だ。

D委員

柵にはウッデイなものを使う、あるいは、柵をしないまでも防犯カメラを犯罪抑止力のために付ける。いくつか折り合いをつけられるのでは。あとはどれだけ予算回しができるのかということなる。

A委員

警備会社への委託も可能性として考えられないか。パトロールしてもらおうとか。

事務局

我々から見れば史跡公園だが、一般市民から見ると緑地公園だ。市内では、公園緑地課が管理している都市公園がたくさんある。たとえば、宿内砦の公園を公園緑地課が管理しているが、そうい

うところはどうかのだ、というふうに議論が広がっていってしまう。文化財施設には機械警備を入れている。たとえば、それをここ（井野長割遺跡）でやるとなると、うちもという可能性もある。ここだけの特異性にはできない。管理委託をして夕方になると閉めるというのは可能だ。上座貝塚も公園緑地課が管理している県の指定史跡であるが、住宅地にあるが何もしていない。防犯カメラは学校の入り口の近くなので有効ではないかと思うが、プライバシーの問題も出てくる。

最低でも点線部分の範囲をロープでくくって公開できればと思う。

D委員

井野長割遺跡の魅力は盛土遺構なのだから、手前だけ見て帰るということはありえない。

事務局

今、民有地を通り抜けて歩いている（人もいる）ので通り抜けを確保したい。まずは、①の案のとおり最低限は公開したい。

A委員

ぐるりと回って出ていくのが普通だ。

B委員

お金の問題が重要だ。出入口を作っても、駐車場がないとなると人を呼び込めない。人を呼び込むことができない空間になってしまっている。人を入れたいのであれば駐車場を整備して、導線を確保しないといけない。なにか中途半端だ。①（破線）のルートでは人は来ない。人を入れたいのであれば入れる工夫が必要だ。

D委員

資料室と駐車場の話はなくなったのか。

事務局

山万の営業部の人が先日来て、この土地に対して法的規制があるか聞かれた。整備計画については計画書を渡してあるのでご存知だ。史跡でもないし、我々が所有しているわけでもないので「ない」と答えた。建物ありきで何かを作るようだった。整備計画を公表していてもやられてしまうのは残念だが、やめさせる手立てはない。三角形の土地は、山万だけではなく3人の方がお持ちだ。

A委員

（山万の土地に）建物ができたら（駐車場やガイダンスは）もうできないのか。

事務局

現実的にはできない。残りの民有地なら別で、駐車場ぐらいなら（できる）。史跡購入の事前の計画では、対岸の井野長割公園にガイダンス施設を作ろうと考えていた。イベント時には駐車場として使えるように当初は計画していた。向かいに家が建ってしまい、便益施設を作られるのは嫌だという声が出るなどいろいろあったので三角形の土地に落ち着いた。

D委員

展示施設や駐車場がないとすれば、どういう人たちを引き込もうという話になるのか。アクセスとしては車だろう。全体計画の肝になると思う。国史跡としてなら遠距離の人をどう入れ込むのか。そこについては現状でどう考えているのか。

事務局

近くにイオンタウンができる。来年4月にオープンする予定。遺跡から歩いて行ける距離。出店説明会に参加し、営業担当とも話をした。バスも通る予定もあると聞いている。そういうところも見ながら考えていきたい。展示施設は井野小の中におきたいと考えている。

C委員

学校の中に車を入れるのは問題だ。

C委員

市営駐車場をイオンの中につくるとか。

事務局

コイン駐車場が併設されているところが多いので、割り切ってコインパーキングに頼る。来た方にはお金を支払っていただくようになる。

C委員

三角形の土地（サービスゾーン）を借りて駐車場にしては。

B委員

今後隣接空間にも何かつくる意図があるのでは。

事務局

山万の土地はここ（史跡西側隣接地）だけだ。

C委員

イオンタウンができればあつという間にいろいろできるだろう。

B委員

史跡指定じゃないところにしか駐車場やガイダンス施設を作ることができないということであれば、もうこの空間（三角形の土地）にはできないということか。

事務局

現時点では（できない）。

F委員

井野っ子山公園があるが、住民としては史跡も公園もどちらも利用の仕方としては犬の散歩コースだ。防犯上のことは同じレベルではないか。

事務局

井野っ子山公園は、区画整理前に周辺住民の要望があつて公園として残すことになった。

F委員

井野っ子山公園のようにもう一つ公園ができるという考え方はしていただけないのか。

A委員

井野っ子山公園は指定地か。

事務局

まだなっていない。埋蔵文化財包蔵地だ。周りは削ってなくなっているが、ここだけは包蔵地のままだ。

F委員

森の中だけでなく、周辺の公園や谷などを含めて全体を見学者に説明すべきだ。

事務局

遺跡見学会などでは、谷も井野っ子山公園も含めて説明している。

F委員

わかりやすいガイドブックがあるといい。

事務局

はい。

A委員

ガイドンス施設を建てる可能性はあるのか。

事務局

井野っ子山は指定地なのでだめです。井野っ子山公園は遺構がありません。公園緑地課がよければできる。道路と高低差があるので駐車場は難しい。

F委員

最低、障害者やメンテナンス車用の1、2台が止められる程度で、そのほかはイオンタウンにとめてもらうとか。斜面の景観を見ながら行き来すればいい。

C委員

井野っ子山公園を削って駐車場にして、ガイドンス施設を作るのはどうか。

オブザーバー（井野小）

小学校の正門前なので、交通整理が難しい。

A委員

市の具体的なプランにかかっている。市として整備に対する方向性を固めてほしい。①破線のルートでは問題がある。史跡公園として、周りを周る導線を考えて欲しい。市としては早めに公開したいというのが破線案か。

事務局

できるだけ早く部分公開したい。

F委員

バリケードがないのなら、破線のルートにしても意味がない。

E委員

住民から見たら、実線のルートだとかなり遠くに人がいるな、という感じでは。

事務局

そうでもない。相対した感じかというとそういう感じではない。

B委員

外部の人を呼ぶのに、お金がないというのなら近隣のみターゲットを絞ることもあり得る。中途半端で、あれもこれもというのに予算がないというのではいつまでたっても動かない。どういう人をターゲットにするかを決めないといけない。最初は近隣の人たちが憩で入ってくる空間でもいいかもしれない。国の史跡だから一般の人向けに活用するということが謳われているのだから、最終的には佐倉市が活用に向けて予算化をしっかりとしなければいけない。どっちも手がかからないでいる状態。史跡公園として活用するとなると、活用に向けての予算化をしっかりとしてほしい。

D委員

今のままじゃ文化庁も納得しないだろう。

B委員

史跡解除もあり得る。

事務局

ご指摘いただいたことをもう一度こちらで整理させていただく。

A委員

保存管理計画は今年度中に策定するのか。

事務局

いつまでとはいいません。早めに策定していきたい。

A委員

道筋が決まっていないと策定できない。

D委員

ロードマップを描いていただく。最初は地域住民がどう使えるのかでもいいと思う。それから外部へという段階で組むと話をしやすいと思う。将来的にはこういう史跡公園にしたいという計画を描いてみては。そうすれば、それに対して委員からいろんなアイデアが出てくると思う。

B委員

井野小は遺跡のある小学校というのが魅力なのだから、お金の問題がかなりかかるかもしれないが、体育館のところをガイダンス施設にして、体育館を別に作るというふうにする。学校の中にある博物館というのを売りにしていくという手もある。学校とどう連携・共有するか。かなり画期的なことだが、やれば全国初の史跡の活用と地域の学校と組み合わせさせたデザインの第1号になる可

可能性がある。小学校にとっても悪いことではない。学校の中にガイダンス施設があるということは、授業にも使える。佐倉市内の小中学校の教育の場としても位置付けできる。学校教育ともリンクできる。そういう工夫をしないと、今残っている空間の中では、ガイダンス施設は作れないと思う。委員として提案したい。

A委員

そういう意見もふまえて、具体性をもって考えて欲しい。段階をおっても構わない。市ではなく国の史跡というのは重みがある。活用が求められる。市の中での位置付けをしっかりと、全国発信できるような活用を考えて欲しい。

事務局

活用の方法として、昨年度はB委員に伐採体験で利用していただいたが、博物館や大学に利用していただきたいし、市民参加型のイベントとして活用してもらいたいと思う。ほかに事例があれば参考にしたい。史跡範囲内で掘ったりはできないが、定期的に、散発的にではなく、年に1回でも2回でも、小規模でも継続してやっていきたい。また知恵をお借りしたい。

事務局

同じ国史跡の本佐倉城跡では、毎年3月半ばに酒々井町と合同で定例の見学会をしている。ボランティアガイドもいる。定形化したかたちで年に何回か催し物をしていきたい。井野小では、土器作りや縄文の授業をしている。植物、自然観察の場としても提供していこうと考えている。8月6日に教職員の研修会があります。井野長割遺跡の説明と見学を行う。活用のこともいろいろ考えているので、お知恵を拝借したい。

F委員

井野長割遺跡を中心に回れるような市民ウォークに組み込んでどうか。考古だけでなく歴史好きな人に紹介しては。

事務局

志津公民館で井野長割講座をやっている。また、市民が独自にハイキングをやっているの、公民館と相談してみる。

事務局

去年は、関西の龍谷大学の史学科の人が夏休みの見学旅行で来たこともある。

F委員

見学に際して申請を出したのか。

事務局

はい。住民の中には、そういう形（許可制）で公開すべきだという意見もある。本佐倉城跡のように、何月何日なら入れるという日を今年度中に設けたい。

A委員

伐採体験は近隣住民が対象だったのか。

事務局

全市民に広報で案内した。近所から来たし、井野小の6年生の女の子も来た。

◎保存活用計画について

事務局

早い段階で策定したい。整備計画と両輪で具体的な保存管理の道筋を計画で示す。関係各課、とくに井野小学校、学校部局と調整しながら保存管理、保存活用計画を早い段階で策定していきたい。章立て等をして先生方と相談しながら進めていきたい。

A委員

基本的な市の姿勢を明らかにして計画を組んでほしい。

オブザーバー（県文化財課）

保存と活用は両立すべきもの。市としてどういう形で活用整備していくのか、という大枠の基本方針を示すこと、そこに至るまでのロードマップを示すというのが大きな問題になる。市、県と詰めて先生方にお示ししたい。